

令和4年度第1回鶴岡市中央公民館運営審議会記録（概要）

日時：令和4年8月23日（火） 午後2時から4時

場所：鶴岡市中央公民館第1会議室

出席者

委員：（委員9名）

中村ちか子委員、池田達枝委員、門松秀樹委員、榊原賢一委員

高山千代子委員、丸山壽身委員、難波正喜委員、渡部巖委員、阿部麻知子委員、

（欠席委員3名）富樫みわ子委員、梅津芳春委員、門脇里香委員

事務局：説明員（6名）

鶴岡市中央公民館長、主査（2名）、公民館専門員（3名）

1. 開会：事務局

2. あいさつ：鶴岡市中央公民館長

3. 委員、職員紹介：事務局

4. 報告：

（議長は同規則第3条の5に基づき、委員長が行った。）

（1）中央公民館運営方針について

（2）令和3年度施設運営及び事業実績について

（3）令和4年度施設運営及び事業実施状況について

5. 協議

（1）今後の施設運営及び事業計画等について

【質疑・意見・協議等】

委員：いろいろと頑張って事業を実施していると感じる。資料についても写真が多く掲載していて、大変見やすくわかりやすい。

古典素読教室の様子は、新聞に掲載されたのを見て、すごくいいことだなと思っておりました。

委員：今回が初めての運営審議会となります。三点ほど伺います。一点目は、多くの講座があり職員の方も苦勞して企画していると思います。講座をきっかけにして、新しくサークルを作って活動している例があれば、お聞きしたいと思います。

二点目は、地域の公民館は、すべてコミセンに集約された形で、名称変更されています。中央公民館と、地域コミセンで、事業や業務の連携なんか考えていらっしゃるのでしょうか。

三点目は、生涯学習の関係では、地域の場合、生涯学習推進員という存在なくしては、館が回らないほどお力添えをいただいておりますが、そういう方々の活動の場と伺いますか、指導、或いは連携とか、そういった事例があるかお伺いします。

事務局：中央公民館では講座をきっかけとして、サークル化につなげるということは、コロナ禍でできていないところです。

サークル共催講座では、サークル会員の方が講師となり、受講生に教えていただいております。講座終了後、受講生から継続希望があればサークルに入っていくことで、新たな人との繋がり、サークルの活性化を支援している状況です。

事務局：女性センターで講座からサークル活動に繋がった例としまして、昨年度の秋に行った講座の「ダンベルトレーニング」という講座がありました。受講生の中から続けたいという声は何名か上がりまして、そういった声を先生に相談して自主活動を続け、今現在、女性センターの登録サークルとなり活動を行っております。

先ほどのご説明の中で申し上げましたが、すでにあるサークルと当館が共催で講座を実施し、受講生の中で続けたければ継続していただくということで、昨年行った水彩画の講座では、受講生4名のうち3名がそのままサークル会員となり活動しています。

また、今年度春の講座では、「暮らしの中で「書」を楽しむ」という講座では、受講生で続けたい方がいまして、7月で講座は終了しましたが、8月、9月と引き続き7名くらいで活動しています。

事務局：社会教育法で規定されている公民館は、本市では当館だけになります。

コミセンの場合は、地元指定管理をしまして、もっと幅広い形で実施いただいております。以前は、社会教育事業の補助金を交付する中で一緒に事業に参加させていただくこともありましたが、現在は、コミュニティ推進課に一本化されたため、繋がりが薄くなっていますが、今後研修の機会などがあれば連携していきたいと考えています。

生涯学習推進員につきましては、当館では直接関係はありませんが、昨年初めてコミュニティ推進課の主催で、オンライン発表会を実施されたのを皆さんご存知でしょうか。コロナ禍でいろいろ活動できないところを、YouTubeで広く発信しようという企画で、推進員の方たちも撮影など協力されておりましたし、当館でも周知など協力をさせていただきました。

委員：本当に事業運営など頑張っているなど、しみじみと感じてしまいました。ありがとうございます。

資料を見て、「おとなのための名画館」など、自分も来たかったなと思います。広報等で周知はしていると思いますが、忙しいと見過ごしてしまいます。もう少し、別の方法で住民が受け止められるような、目に触れる機会があると嬉しいと思います。

自分がバスを利用した際、中央公民館にプラネタリウムを見に行くよっていう、大泉小学童の1年生から3年生と一緒にだったので、とてもいいことだと思いました。

た。乗り合いバスだけでは乗り切れないためタクシーも使って、行きバス、帰りタクシー組と、行きタクシー、帰りバス組に分かれて行きますと、先生がお話しされてました。バスも小型化し、コロナ禍で、座席の減ということもあるので、市からバスの貸し出しみたいな補助があると、もっと楽なのではないかと思います。

サークルを立ち上げる際のことですが、自分が以前社協で企画した介護予防講座に参加したのですが、講座終了後にこのまま終わるのが惜しいなと思って、新たにサークルを立ち上げたのです。場所は減免で無料でお借りできたのですが、講師謝金が1回毎に結構かかるのですが、公民館の方では、講師の紹介はできるとしても講師料の補助はないのでしょうか。

事務局：事業の周知については、広報やホームページで周知はしておりますが、皆さんに情報をお伝えすることは難しいと考えています。プラネタリウムについては、鶴岡市がLINEの活用を進めているため、LINE上で観覧予約ができないか検討を進めております。また、施設情報の中に中央公民館のページを設け、チラシデータを掲載し、周知ができればと考えております。

プラネタリウムは、一般観覧の他に、団体観覧を設けておりまして、概ね10名以上の団体のご希望に沿いまして、受け付けをさせていただいております。今年度、学童さんをはじめ団体のご要望が非常に多い状況です。大泉学童さんのように、路線バスを使ってバスの乗車体験学習プラスプラネタリウムという形で、ご利用いただいているところもございます。

小学生を対象にした天文移動教室は、学習の一環ということでスクールバスの利用ができますが、今のところは、他団体さんへのバスの補助は実施しておりません。プラネタリウム観覧、体験学習に対しての貴重なご意見として、今後の活動の参考にさせていただきます。

サークルを立ち上げる際の支援ということでは、講座終了後もご希望があれば、6ヶ月間はお試し期間として、使用料を免除しています。その間に会計、組織づくりについて職員がお手伝いさせていただいております。お試し期間の後で、正式に登録サークルとして活動いただいております。

講師謝礼については、現在補助制度というのはありません。会員数が減ってくると、1人当たりの負担が大きくなるため、その際は、サークル共催講座をご活用いただいて、会員数を増やし、会の運営を安定させる等の提案をさせていただいております。

委員：私は、中央公民館のサークルで日々お世話になっております。今年の秋季講座で「うたう会どんぐり」としてサークル共催講座を実施します。このサークルは、平成14年に中央公民館の講座終了後、サークル化したもので、現在も継続しております。当初からの会員は2人ほどいるそうですが、年齢はだんだん上がり、人の入れ替わりもあります。今回、先生と相談し、サークル共催講座を実施することになった経緯は、やはり会員数が減ると、会計の面でいえば、先生の謝礼支払いも大変になって

くる。広報やチラシで皆さんに周知していただいて、講座からサークル会員がもっと増えたらいいなと思っているところです。

私は、今年まで民生委員をしており、第6学区のコミセンもよく利用しております。中央公民館が使用できない時に、コミセンを使いたいと申込みをしても空きがない。補助は出るのですが、早くに申し込む必要がある等条件がいろいろあるようです。昨年も急ぎよ使用したいと思いましたがコミセンの使用ができず、みどり町公民館さんをお借りすることになりました。そこで、公民館とコミセンで連携ができたらいいいと思っています。

プラネタリウムに関しては、孫が何度も来ています。親が連れてくるのは難しいので、幼稚園で連れてきて見せていただくのは、ありがたいと思います。これは、幼稚園からの要望ですか、中央公民館からの案内でしょうか。

事務局：七夕とクリスマスのプラネタリウムについては、当館から幼稚園、保育園等にご案内を差し上げて、ご希望があった園にご観覧いただく形となっています。

委員：来館時に、時々幼稚園児とお会いするので、いいなあと思っています。

コミセンの利用については、早くに申し込む必要がある等、利用したい時に利用しにくい状況です。もう少し、スムーズに利用ができたらいいいなと思います。

事務局：駐車場については、コミセンとの調整は密にしていますが、貸館の調整については、連絡を取りあっていない状況です。

委員：駐車場は分かれているのですよね。

事務局：中央公民館専用と共有部分の駐車場に分かれています。大きい催しが二つ重なると駐車場が止められない状況になるものですから、駐車場については調整を行っています。中央公民館の貸館は、主催事業がある時はお貸しできないのですが、2ヶ月前から申し込みができますので、お問合せいただければと思います。

委員：先ほどもありましたように、魅力的な講座がたくさんあって、格安な料金で受講できて、すてきだなって思いました。人気講座は、昼だけでなく、夜にも開催するなど臨機応変な対応で、受講者が参加しやすい、とても良い計画をされていると思います。

今年は、酒井家入部400年ということで、先生の講座のチラシもあり、とても嬉しく思います。

社会的に置かれている状況や社会で求められている講座がたくさんありますね。例えば、古典素読教室については、対象を4年生から1年生に引き下げられたことを本当に嬉しく思っています。本校でも特に1~3年生のうちは素読の人气があり、素読を55章以上暗唱ができると朝陽2小はメダルがもらえます。素読の対象が1

年生からということで、本当にタイムリーだったと思います。

また、ジャングル大帝等の16ミリフィルムについても、本当に楽しみで、ぜひ実現して欲しいと思います。

そこで、一つお聞きしたいなと思ったのが、一番最初のねらいのところにもあったのですが、幅広い年齢層に向けた魅力ある拠点づくりとか、日常生活や地域課題に取り組む機会の提供や、市民が心豊かな生活を送れるように生きがいづくりや仲間づくりを支援しますとありますが、この講座の計画、企画の仕方をどのようにされているのかと思ったところです。たとえば防災という社会的ニーズを捉え、その企画の仕方をどのように考えられているのかということと、そのニーズを聞き取るような方法とか手だてがあったのか、例えば講座を開いて参加した方から何かアンケートの中で聞き取っているとか、何か手だてをとっていることがあれば教えていただきたいと思いました。

私の意見としては、やはりたくさんの方のニーズを聞き取ることは大事だと思っていて、運動系のように人気があるものだけではないと思うので、よろしかったら講座の計画の仕方を教えていただければと思います。

二つ目に、子どもの対象の講座は経費が無料となっていますが、子ども向けは経費を軽減し公民館予算から出ているのか、参加費、材料費についてどのようなお考え、また無料、有料があるかについて教えて下さい。

また、とってもいいなと思ったのが、仲間づくりだったものですから、サークルの育成の交流を年に2回されているということで、どのような交流をされているのか興味がありましたので、教えてください。

事務局：各種講座の企画については、広くニーズや意見を聞く機会としまして、講座終了時に「今後どのような講座をご希望ですか」というアンケートを取っており、次回企画の打合せ時に参考にさせていただいております。

サークル交流会でございますが、年2回の交流ということで、今年度の夏季交流会は、7月21日に実施しました。案内を差し上げて、登録サークル55団体中から約3分の1の団体から参加いただき、中央公民館1階の大視聴覚室というところで、余興を披露したり、3年ぶりで開催できました。また、今後の冬期間の交流会についても、役員の方と実施時期、実施方法につきましても検討して参りたいと考えております。

事務局：それでは講座の受講料につきましてご説明をさせていただきます。基本的に1回550円に回数をかけた設定で受講料を頂戴しております。講座によっては、材料費がかかるわけですが、費用を高くすれば高価なものではできるのですが、できるだけ高くないように、例えばチラシの「つるあみ講座」について受講費、材料代を含めて、4000円以内に収まるよう、講師の先生と相談をしながら金額設定をしているところです。

無料の講座については、先ほど防災という話もありましたが、コロナ禍でなかなか

か地域課題の解決に向けた講座を企画しても参加いただけない。参加者がほぼ1人とか2人では実施できないため、中止にした講座もあります。チラシを見ていただくと、防災講座の講師に明治安田生命保険山形支社と書いてあります。これは、明治安田生命さんが、全国の地域の公民館を元気にしようという社会貢献事業を展開されているものを当館で活用させていただいております。参加者の負担なく、会場提供、チラシ配布は中央公民館で、講師の手配や資料の準備は先方をお願いしております。充実した内容をご提供いただいておりますので、ぜひ皆様からも参加していただきたいと思います。

子ども対象事業の経費が無料ということについては、NPO法人鶴岡市芸術文化協会さんとの共催事業となっております。経費を全部見ていただいております。詳しくは委員のほうからご紹介いただけるとありがたいと思います。

委員：今回が初めての運営審議会参加となります。鶴岡市の自治振興会連絡協議会からの立場ですが、芸術文化協会にも関わっていますので、お話しさせていただきます。鶴岡市から芸文協へ補助金をいただいて、こども文化クラブを実施しております。最初に県の事業で3年ぐらい実施しまして、その後鶴岡市ということで、6年位の事業となっています。次世代育成として子どもたちに体験をしていただき、多様な芸術文化を次世代に伝えていきたいということを目指しています。3年前からは、中央公民館と共催で事業を実施してまして、今年もチラシの通り民謡、日本舞踊、紙ねんどと絵の具で絵を描こうの3つの講座を、中央公民館を会場に企画しました。経費の面では、講師謝金等、芸文協の予算で賄っております。残念ながら今年は、民謡、日本舞踊の方が、申し込みがいなかったということで中止になりましたけれども、紙ねんどと絵の具で絵を描こうは実施しております。そんな形で、受講料は無料ということでございます。

委員：私は朝日からきていますが、先ほども一部話しがありました。当施設は社会教育施設ということですが、郡部の旧市内、旧町村の場合は、全部そういう機能がコミセンに移っているわけです。市内の場合はコミセンはコミセン、それから中央公民館となっているわけです。そういう中で、講座は多岐多様で、コロナ禍の中で非常にご苦労されて、しかもニーズの調査をしていることもわかります。最近、若者の出席者が少ないというお話でしたが、平日の講座が非常に多いので、若者はやっぱり参加できない。そういった場合、時間的な配慮も必要かなと思います。また、市として、市民にこういうことを広げたいというような、例えば防災のようなものも必要かなと思います。

逆に、市民が必要、やってみたい市民講座という観点では、朝日のコミセンでは、集客にかなり苦労しているようですが、スマホ、パソコン、それから健康講座、ヨガなどは人気があるみたいです。従ってニーズに合った講座の企画はもちろんです。それと併せて一般論として、講座について内容がわからない、周知が行き届かないということに加えて、ここまでなかなか来ることができない。まして、よほど

の興味がなければ、夜は来ることができないという場合もあるので、地域のコミセンとの連携の中で、地域でも同じようなことができるような、そういう連携をぜひ深めてほしい。

制度は、社会教育法に則ってとのことだが、地域にとっては関係ないので、ぜひ連携をお願いしたいと思います。

それからお願いですが、以前、中央公民館のエレベーターが壊れました。いつ直るかわからないため、利用者が文句ばかり言ったりと非常に悪評でありました。従って、今回このような形で新たに改新されることは喜ばしいことなのですが、「いつからいつまで使えませんか、工事しますよ」ということを、わかりやすく、理解をより得られるような形でぜひ、工事をしてほしいとお願いをしたい。

もう一つ、コミセンとの駐車場の関係で、連絡調整をしながらラインを引いて欲しい。車を止める時、夜見えなくて、非常に危ないです。活動する曜日によってもかなり違いますが、天気や時期によっても非常に危ないです。また区画線がないのはもちろん、中には枠外に駐車する方もいるようで、安全面からも、お互いに気持ちよく駐車場を利用できるよう誘導していただきたい。

委員：コミセンとの連携を深めてとおっしゃって、制度はわかるけど、住民にはそれは関係ないっておっしゃったのですよね。制度が制度としてあって、やはり公民館さんはそれに縛られると思うのですが、活きた形でやはり活動ができればいいと思うので、今ここで答えが出るわけではないのですが、どうにかならないものかと思えます。ここで回答を伺うというのではなく、何か一緒に前向きな、みんなで考えられないかと思いました。

事務局：貴重なご意見、本当にありがとうございます。

私たちも今、コロナ禍で直接お会いする機会がとても少ないような気がします。自治会長の皆さんと会うのも、総会ぐらいで、コミセンの職員の方、自治会の方とお会いする機会がない。

情報交換につきましては、生涯学習事業のまとめを、コミュニティ推進課で作っていて、私たちも昨年度こういう方針でどういう事業をやりましたという資料、写真をお出しして、冊子になっているため、時々問い合わせをいただくこともあります。私達も、あの講師の先生はどうだったかというような情報交換は、電話ですておりますので、コミュニティ推進課とも今後何か話し合いができればと思っております。

また、夜ここまで来るのは大変だという件について、関係するかどうかわかりませんが、今年度はWi-Fiの工事を予定しています。全館ではありませんが、ホール、大視聴覚室あと2階も何部屋かWi-Fiを使って情報発信とか、オンライン研修ができるように今いろいろ準備を整えているところです。各コミセンの方も、今年度ホールを中心に整備するようなことを伺っておりますので、工事後、オンライン文化祭等一緒に取り組みをしたり、午後、夜講座で参加するのが大変な遠い方、車椅子

の方とか、そういった方にオンラインを併用した講座ができればいいと考えています。

私たちがデジタル活用等についてノウハウがない中ですが、デジタル都市構想とか、誰1人取り残さない社会づくりなど、国からいろいろな通知がきておりますので、公民館としましては、特にデジタルに不安のある方を対象に、パソコンやスマホに触れる機会や学習機会を提供してまいりたいと考えております。本年度、古くなったパソコンを入れ替えまして、シニアのためのパソコン講座を企画し募集したところ、すごい反響をいただいております。今後は、スマホ講座なども少しずつ出来たらいいなと考えております。

駐車場の件について、コミセンのラインは基本的にコミセンの予算で塗るようになっているようで、第6コミセンさんは、先日Tの部分だけ塗っていました。当館もTの部分だけ塗ってみましたが、身障者用駐車場は大分陥没が酷くなってきており、何とかしないとイケないと思っています。

先ほどエレベーターのこともありましたが、毎年だいたい2千万円近い工事費がかかり、さらに外壁とか次々壊れるものですから、なかなか手が回らないような状態です。ただ、もう少しラインが濃くなるようにするため、ペンキの準備をしているところですので、お待ちいただければと思います。

青年層につきましても、何とかしたい気持ちはあるのですが、今は少し我慢かなと思っています。各種講座も本当は長期講座にして、出席当番みたいになれば、まとまりができてサークル化に繋がるのかと思うのですが、コロナ禍でいつ中止になるかわからない中、なかなか長期講座の実施に踏み切れないところでございます。

交流についても、中々、もどかしいところがございまして、サークル交流につきましても、例年でしたら、コミセンをお借りして、夜飲みながら楽しく過ごすのですが、とりあえず何かやろうということで、お昼に館内でノンアルコールで実施いたしました。少しずつできることからやっておりますので、ご理解いただければと思います。

委員：鶴岡市の旧町村の地域の自治振興会、コミセンがあるわけですが、そこでの地域生涯学習講座ということで、中央公民館、社会教育課、コミニュティ推進課の三つで分担されていると資料にあります。地区担当職員は毎年変わるのか、生涯学習講座の協力をする際の具体的にはどういった協力になるのかお伺いしたい。ネット環境が整備され講座をするというのは、少しずつやっているようですが、今後さらに進めていただきたい。また、出前講座といいますか、アウトリーチ的な事業を今後考えられているのかお聞きしたい。

事務局：要覧11ページ中ほどに地域生涯学習講座ということで、15地区の中で、中央公民館の担当は9地区となっており、本年度要請が来ておりますのは、小堅・湯野浜・西郷の3地区となっています。支援の方法としては、各自治会から要請があった時に、実施計画や報告、次年度に繋がるような年間の振り返りの時等、中央公民館で

は「こんなことをやっていますよ。」というような情報提供を行っております。先ほ
どから Wi-Fi というお話があがっていますが、中央公民館よりも各コミセンの事業で、
Wi-Fi の講習ですとか、スマホ、パソコン講座等を先進的に始められているようで
すので、逆に私達も学ばせて頂きながら、何か将来的に連携が図られればお互いに
良いのではないかと思います。中央公民館の担当は 9 地区とありますが、その年の
職員の配置や業務分担により入れ替わりはありますが、今後とも連携を図っていく
よう努めていきます。

委 員：確認ですが、地域から中央公民館へ要請する形ですかね。

事務局：そうですね。要請を受けて、参加している状況です。

委 員：今の件と関連しているのですが、旧鶴岡地域の郊外地区で組織する「自治振興会」
とありますけども、これには、藤島・羽黒・櫛引・朝日・温海などは入っていない
ような雰囲気を感じたのですが。ちょっと残念だなと思います。Wi-Fi となれば広
域でできるのかもしれないのですが、中央公民館の役割は、鶴岡の中央公民館とい
うことなので、当然旧鶴岡でなく、郊外地域の我々の地域が入らなければおかし
いのではないかとお話を聞いていて思いました。

委 員：中央公民館で、非常に多種多様な講座を開講されているという点は頭が下がる思
いでございます。私自身の専門が歴史ということもあり、鶴岡市の施設で、郷土資
料館と東田川文化記念館の講座を担当させていただいた経験があります。同じ鶴岡
市の施設同士で、どういった講座を開くかということに、例えば市全体として、協
定や調整のようなことが行われているのか、それとも各施設が独自にやっている
ということになって、講座内容が重複することがあるのかという点をお話しいただ
ければと思います。

事務局：現在、調整等の機関はないため、他の施設と同じような講座を企画することや、
チラシを見て重複していることに気が付くこともあります。昨年度の講座で、他の
先生の歴史講座の受講生を募集したところ、先生が長年講師を務めている里仁館で
も同じような講座が企画され、両方に申し込んだ方からキャンセルのご連絡をいた
だきましたが、鶴岡市も広いので、受講しやすい場所を選べることからいえば、同
じような講座が重複しても良いのではないかと考えています。

また、本日の資料に、9月5日に開催の酒井家庄内入部 400 年記念講演会のチラ
シも入れさせていただきましたが、ぜひ皆様方に受講していただければと配らせて
いただきました。当館でもぜひ先生に講座をお願いしたいところではございますけ
れども、今年度、本市が酒井家入部 400 年ということで、実行委員会を組織して多
くの関連事業が実施されておりますので、状況を見ているところです。

それから、先ほどご質問ありました「旧鶴岡市」というのは、旧鶴岡市の旧鶴岡

市内ということですが。平成の合併前、昭和の大合併時が基準で、1学区から6学区の市街地を「旧鶴岡」、その周辺、例えば由良地域、上郷地域、そういった旧町村を「郊外地」と呼んでおり、自治振連さんが組織されているため、それに代わる適当な言葉が見つからなくて、現在もその表記のままになっております。なお、各地域庁舎の総務企画課長が社会教育主幹を兼任しており、例えば、藤島地域であれば主担当は藤島庁舎の総務企画課になっております。社会教育課もコミュニティ推進課も旧鶴岡地域を担当しているようです。

先ほどご意見をいただきました、住民の方にとっては誰がやろうがどこでやろうが関係ないという件につきましては、何かいい方法がないか今後の検討課題とさせていただきます。また、出前講座はやらないのかという件につきましては、現在、限られた職員で多数の事業を実施しておりますので、今のところは考えておりません。近年は、市役所でも色々な課で講座を実施しておりますし、当館に依頼もありませんので今のところは見合わせております。

委員：先ほどの委員から質問がありました2点に関連してお聞きしたいのですが、いろんな公民館、講座とか、行事が平日に集中していますが、これを土日等の開催は無理なのでしょうか。

事務局：ご覧の通り、当館は複合施設になっておりますが、駐車場の台数が限られております。例えば、市民ホールの貸館が入ってしまうと、ほぼ駐車場が埋まってしまうため、主催事業の実施は控えております。またプラネタリウムの一般公開は土日が多いのですが、1日複数投映のため、入れ替わりが多くなり、他の貸館ができない状況となっております。講座の場合は、受講生にご年配の方が多くなっているため、日中の方が参加しやすいということもあります。若い方も受講していただけるよう夜の講座を企画したところ、高齢の方の受講が多く、夜間大変そうにいらっしゃることがあり、結果的に日中の講座が多くなっております。また職員の勤務体制もございまして、夜間の講座などは時差出勤で対応しているため、午後から出勤して夜講座を担当しておりますので、午前中に職員が手薄になりますので、なかなか自由が利かないということになっております。

委員：もう1点ですが、駐車場のラインの件は安全衛生上実施してほしいと意見がありました。予算が当然あると思いますので、本当は業者さんにしっかりラインを引く依頼ができればいいと思うのですが、私の地元の櫛引地域では、材料を出して、ボランティアの方から各施設のラインを引いてもらって対応しています。その方法は、中央公民館ではいかがなものでしょうか。

事務局：中央公民館では、黄色い枠線が中央公民館専用の駐車場となっておりまして、材料を中央公民館の予算で購入し、ライン引きは中央公民館の委託業者が貸館のない日に、天候を選んで引いております。コロナが一番初めに流行したときは、当館も

休館となったため、全部のラインの引き直しをしましたが、また見えづらくなっておりますのでラインを引き直す予定にしております。

委員：講座の企画について、内容の選び方の話があったわけですが、これから鶴岡市の人口が推計8万人ぐらいに落ち込み、高齢化率も40%を超えるというような予測もでていますが、これからは「福祉」という言葉が必ず出てくると思います。現在、社会福祉協議会でもお互い様だとか、きずなだとか、様々な名前をつけながら、お互いにその地域の中でできることは地域の中でやろうということで、連携の兆しが防災を含めていろいろな形で動き出しているわけです。鶴岡市全体、公的な機関が一丸となって市民にPRをして行動に移していかなければならないと思います。ぜひ、公共的な立場の中で講座の組み方で、「福祉」関係もこれから入れていく必要があるのかと思います。

秋季講座の中で、認知症の講座があるようですが、地域のきずなとか、お互い様の部分、これからは学校教育の中でも、おそらく「福祉」関係は入ってくると思いますが、これからの課題と捉えていただくようよろしくお願いします。

事務局：それでは、皆様の方から周知等ございましたらお願いしたいと思います。特段ないようですので、協議はここまでとさせていただきます。委員長は本当にありがとうございました。

委員の皆様から非常に貴重なご意見を頂戴しまして、今後の計画を立てる上で、ぜひ前向きに検討させていただきたいと存じます。ありがとうございました。

6. その他

(1) 第13回山形県社会教育研究大会について

7. 開会

事務局：それでは、次回の運営審議会についてですが、令和5年3月に開催予定となっております。内容は、令和4年度の実施状況報告と令和5年度の施設事業計画等の協議を予定しております。またご案内の際には、日程調整の方よろしくお願ひしたいと思います。

以上をもちまして、令和4年度、第1回中央公民館運営審議会を閉会いたします。お忙しいところ、ご参加いただきまして誠にありがとうございました。